

令和8年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

1年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	○平仮名の発音や読み書き、基本的な文章の読み取りは概ね達成している。（平均90%以上） ○促音や拗音の定着、考えを文章で表すこと、話すこと・聞くことに課題がある児童がいる。	○授業や家庭学習で音読をさせることで、知識・技能の定着を図る。また、日常的に活動の中で書く活動を取り入れ、自分の考えを文章で表すことができるようにする。また、友達の意見を聞いたりペアで話し合ったりする活動を取り入れ、様々な言葉や表現に触れる機会をつくる。 ○考えを書き表す時には、最初に友達と相談したり、全体でモデルを共有したりすることで書くことへの抵抗感を減らすようにする。また、よい意見を黒板に手本として示すことで、安心感をもって表現する活動ができるようにする。 ○話すとき・聞くときのポイントを全体でしっかり確認する。また、練習する時間を十分にとり、児童が自信をもって話せるようにする。聞いている側に話し手が質問する機会をつくることで、聞くことの楽しさを感じられるようにする。	
算数	○学習の基礎的な内容については、約90%の児童が理解できている。一方、文章題を理解し立式する力に個人差がある。 ○文に出てきたものの数の順	○文章問題では、教科書の絵や写真などを活用して、問題の文意を捉えることができるようにする。特にひき算では、問題の場面をしっかりと捉えさせ、大きい数から小さい数をひく式になっているかを確認めさせる。 ○自分が導いた考えに対して、なぜその考えに至ったのか問うことで、思考力や表現力を育む。また、友達と考えを共有する機会を設け、自分の考えと比較し、新たな視点を取り入れられるようにする。	

	に式を立てている。		
生活	○植物の観察に意欲的に取り組み、水やりなど植物を大切にしようとする児童が多い。 一方で、絵や文章で植物の成長の変化や特徴を捉えられておらず、自身の言葉で記録がかけていない児童がいる。	○植物を観察する際には、葉の形、色、大きさ、手触りなどの着目する観点を示したり、時間を十分に確保したりすることで、植物の細かいつくり気付かせ、段階的な植物の成長を記録できるようにし、植物のどこに着目するのか考えながら記録できるようにする。また、記録した植物の成長を、タブレット端末を用いてスライド形式にまとめることで、成長の流れを分かりやすくし、植物に対しての興味・関心をもてるようにする。 ○観察前に絵の描き方や記録文の内容など、教師が例文を提示し、記録の仕方についての支援を行う。	
図工	○図画工作の活動を楽しみにし、意欲的に造形活動に取り組んでいる。一方で、形や色などの造形的な面白さに気付くことができるような活動を充実させていく必要がある。	○制作前や制作途中に、形や色の面白さを試す時間を設定し、形や色そのものに目を向ける発問を行う。また、試したことによる気付きや発見を積極的に価値付けることで、造形的な面白さに気付けるよう支援する。	
体育	○授業の様子から、意欲的に取り組める児童が多いが、新しいことに不安を感じる児童も見られた。	○結果だけを見るのではなく、挑戦したことを褒める声掛けや、取り組む過程で成長した点を取りあげ褒めるようにする。運動の得意不得意にかかわらず、体を動かすことを楽しめるように、各種の運動遊びの行い方を工夫する。	